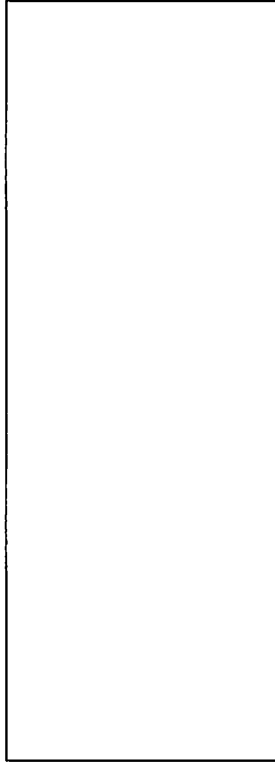


おきて

わたしが
私たちのまわりに、どんなきまりごとがあるか、

かんが
考えて、次の空白に書いて下さい。



りっぽうしやかい
律法社会

イエスの時代、旧約のおきては律法として絶対的

な基準きじゆんになっていました。当時とうじ、律法りっぽうを守るために、さらに細かい言い伝えつたが作られていました。そして、律法学者りっぽうがくしやが指導者しどうしやとなって、人々に律法りっぽうを守らせるように教おしえていました。

りんじん あい
隣人を愛せよ

イエスの答こたえた第一だいいちのおきては、当時とうじのユダヤ人じんなら誰でも認みとめるものです。しかし、第二だいにのおきては特別とくべつです。たいていの人ひとなら、安息日あんそくびを守ることとか、初物はつものを神かみに捧ささげることとかを答こたえるでしょう。ここにはイエスの思想しそうと行動こうどうの特色とくしよくがみられます。

イエスは、当時の律法社会にあつて、多くの苦しんでいる人たちを見ました。そして、この人たちこそ神の救いを必要としていると感じました。しかし、実際には、この人たちは人々から相手にされず、神殿にも入れませんでした。また、自分たちは神からも見捨てられたと思っていました。

「隣人を愛しなさい」という言葉は、このような意味で、当時の律法社会を批判した言葉です。イエスは人々が律法の名のもとに人を差別していることに、怒りを感じたのです。

現代社会にも、残念ながら、同じような状態が残っています。隣人を愛しなさいと言いながら、身近なところで人を差別しているのでは、何にもなりません。困った人を助けるだけでなく、人を差別して困らせないようにはしないとはいけません。

